

## ◇◆ お客様へのメッセージ冊子 ◆◇

この冊子は、お客様に向けた、セゾン投信のメンバーの思いや、  
応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。  
ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

■この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、証券取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

■この情報は、閲覧者ご自身のみのものでし、転載、または、第三者への提供は禁止します。

■万一投資家がこのメッセージに基づいて損失を被った場合、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

■投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

## 長期投資仲間へのメッセージVOL、2

2007年5月1日

### 長期投資の旅

セゾン投信の長期投資の旅は出発して一ヵ月半が経ちました。おかげさまでこの短い期間で5千人ちかくの長期投資仲間と一緒に旅に出てくださいました。皆様それぞれに車窓の景色を一生懸命見ているようで、この間にも様々なご質問をいただきました。「ファンド購入の投資タイミングはどう考えればいいのか?」「米国景気が目先後退したらファンドの時価はどうなるのか?」「日経平均の上値が重いようだけどチャート的には・・・?」等々。目の前に起こる事象に関心を持って自らの考えを巡らせることはもちろん悪いことではありません。但し長期投資の中においては一瞬一瞬の動きはほとんどの場合些細なこと。小さな相場のうねりを乗り越えて乗り越えて、長い時間をかけて運用成績を安定させるのです。長期投資の旅に出た以上は、資産形成に関してはゆったりのんびり構えて、人生を楽しみながら歩んでいただきたいと思います。そうした寛ぎを感じていただくための裏づけは、「信頼」しかありません。一緒に旅する皆様が安心して「信頼」を持てるように、私たちはひたすら真剣に誠実に運用に取り組んで、成果をお見せして応えることが使命だと肝に銘じています。

### 社会的存在意義

今年2月、東京鋼鐵という会社の株主総会で、大阪製鐵の完全子会社となる会社提案が否決されました。この反対を主導したのは「いちごアセットマネジメント」という投資ファンドの会社でした。彼らはこの合併提案における東京鋼鐵の株価評価が不当に低く、既存株主の不利益につながるとして個人投資家に説明してまわり、株主総会で多くの個人株主から委任状を集めて見事否決に成功したのです。個人株主が何故支持にまわったかといえ、これがファンドの利ざや稼ぎを目的としたものではなく、少数株主のための行動だと理解したからです。事実いちご社は東京鋼鐵株を高値で売り抜けることが可能であったにもかかわらず、自分たちのファンドには道徳があると継続保有を表明しました。いちご社のファンドは明らかに短期売買で利益を追求する多くの投資ファンドとは一線を画した存在のようです。

一方で、老舗大手電機メーカーでは経営不振から大株主となった大手外資系の投資ファンドが同社の経営を翻弄しています。既に子会社の株式を1年あまりの保有で売却して巨額のキャピタルゲインを得ましたが、おそらく本体の株式も早々に売却して現在の株価でも十分な巨利を稼ぎ出すことでしょう。無論経営を誤って投資ファンドの出資に頼らざるを得なくなったこの老舗メーカーの経営陣に問題は起因しているのですが、まさに濡れ手で粟の投資行動が日常化している風景に、改めてこうした投資ファンドの社会的存在意義といったことに思いを巡らせてしまいます。

## 行動の規範

さて、この2つの投資ファンドの行動様式、どちらに共感を覚えるでしょうか。資本主義社会とはそもそも清濁併せもった性質で成り立っています。粛々と社会に役立つために努力を積み重ねて愚直に働く経済活動も資本主義の一面であり、とにかくお金儲けを目的に、効率よく、ある意味狡猾に利益を稼ぐことを最大の正義であるとして行動することも資本主義社会が認める経済活動であるわけです。そこではどちらが正しいとか間違っているという論争には正解がなく、結局は人それぞれがそれぞれの価値観の中でどう捉えるかです。電車内でお年寄りや体の不自由な方が立っていても、席に座って居眠りを続けることは法律違反ではなく、その人にとっては効率的な睡眠という成果をもたらします。しかし一方で、たとえ眠くとも席を譲って社会に存在する者として正しくあろうと、眠い目をこすりながらも胸を張っていたい。

セゾン投信はそんな誠実さを大切にする会社であることが、長期投資仲間からの「信頼」の礎だと思っています。「長期投資は正々堂々と王道を歩むこと」という信念を持って取り組んでまいります。

セゾン投信株式会社  
代表取締役社長 中野晴啓

## 一般の生活者のための世界分散投資

皆さん、こんにちは。

2000年に日本支社を設立以来、バンガードは、日本の個人投資家の皆様に当社投資サービスのメリットをご提供するためにさまざまな努力をしてきました。今、セゾン投信という強力なパートナーのご協力を得て、さらに大きく一歩、皆様に近づけたことを大変うれしく思います。

また、さわかみ投信という、日本の投信市場における長期投資のパイオニアとともにセゾン投信の事業にご協力できることを光栄に思います。

「貯蓄から投資へ」といわれ始めてからすでに数年経過していますが、一般の生活者にとってその転換を実行することはそうたやすいことではありませんでした。

投資のための専門知識が無い。それを勉強する時間が無い。仮に知識を身につけたとしても、その実践のための時間も無い。投資信託を選ぶ方法がわからない。といった当然の悩みを皆さんが抱えていらっしゃると思います。

これは何も日本に特異な事情ではありません。世界中どこでも同じ状況です。アメリカの普通の人の方が日本の普通の人よりも、投資に関する専門知識が豊富だとか、投資のために費やせる時間を多く持っているなどということはありません。

アメリカと日本の状況に違いがあるとすれば、それは、投資に関する一般教養的な知識がアメリカで、より広く普及しているということだと思います。

ここで言う「投資に関する一般教養的な知識」のエッセンスを要約すれば、(1)分散投資のメリット、(2)長期保有のメリット、そして(3)コストの重要性です。

これらを理解すれば、普通の人の方が投資信託を通じて適切な投資行動をとることができるようになります。逆に、これらを理解していないと、投資の意思決定のために膨大な時間を費やしたり、リスクの大きさに気づかないままハイリスクの投資に手を出してしまったり、特殊なリスクに偏ってしまったり、自分に適していない投信商品を選んでしまったり、余計な費用を負担したりすることになります。

この「一般教養」は、「専門知識」よりもずっと容易に理解することが可能です。しかも、その重要度は「専門知識」以上に高いと言えます。「一般教養」を欠いた「専門知識」は、しばしば危険ですらあります。まして、不正確、生半可な「専門知識」などは論外です。

今まで日本では、この「一般教養」を普及させようという動きが不十分だったと思います。逆に「専門知識」の重要性ばかりが強調され、それに呼応して、特殊な仕組みの投資商品や、目新しい投資市場や、「今一番ホットな」投資対象にばかり注目が集まってきたように思います。そして、そのためにかえって、堅実な一般の生活者の足を投資の世界から遠ざけてしまったのです。

また、当然、そのような特殊な投資商品の価格、手数料は、普通の商品よりも高い傾向にあります。

私たちバンガードは、何とかこの状況を変えたいと苦心してきました。そして、セゾン投信という志を同じくするパートナーとめぐり合い、セゾン・バンガード・グローバルバランス・ファンドを皆様にご提供できることになりました。

セゾン・バンガード・グローバルバランス・ファンドは、分散投資のメリット、長期保有のメリット、低コストをすべて盛り込んだ投資商品です。このファンドを持つだけで、世界中の証券市場に分散投資することができます。しかも非常に安く実現できます。

ぜひこのメリットを十分にご理解のうえ、末永く保有いただくことをお勧めします。

さらには、ご家族、お友達、お知り合いの方々に、このメリットを広くお伝えいただき、一般の生活者のための簡単で有効な投資方法の普及にご協力いただければ幸いです。

バンガードは、今後も皆様の実り多い資産形成のお手伝いに努力を続けてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

バンガード・インベストメンツ・ジャパン証券  
代表取締役 加藤隆